

# よくわかる決算書

令和4年度 下水道事業会計  
岡崎市上下水道局

下水道事業のいまと未来！

収益的収支と資本的収支とは？？

～～損益計算書に載らない支出～～



©R.S.H/RUNE

用語解説付き！

令和4年度の決算を解説します！！

# 目次

<b>1 決算書とは？</b> .....	1
まずは、財務三表それぞれの役割について解説するよ！ .....	2
<b>2 経営成績はどうだったの？</b> .....	3
下水道事業の概要を見てみよう！ .....	3
損益計算書の収入を見てみよう！ .....	4
次に、支出の内容を見てみよう！ .....	5
「減価償却費」「長期前受金戻入」を知ろう！ .....	6
損益計算書の「収入」から「支出」を引いてみよう！ .....	7
損益計算書に載らない支出・収入を知ろう！ .....	8
「資本的支出」（＝損益計算書には載っていない支出）を見てみよう！ .....	9
「資本的収入」（＝損益計算書には載っていない収入）を見てみよう！ .....	10
「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう！ .....	11
まとめ .....	12
<b>3 補填財源の推移を見てみよう！</b> .....	13
<b>4 下水道事業が置かれている状況を見てみよう！</b> .....	14
<b>5 財務三表の解説</b> .....	16
【図解】 損益計算書 .....	16
【図解】 貸借対照表 .....	17
【図解】 キャッシュ・フロー計算書 .....	18
<b>よくわかる決算書 用語解説</b> .....	19

# 1 <sup>けっさんしょ</sup>決算書とは？

岡崎市下水道事業では平成 24 年度から<sup>こうえいきぎょうかいけい</sup>公営企業会計を導入しています。

公営企業会計では民間企業のように<sup>ふくしきぼき</sup>複式簿記を使って記帳を行います。  
その記帳の内容を取りまとめたものが「決算書」になります。

決算書は、4月1日から翌年の3月31日までの1年間の経営成績と  
財政状況について、<sup>そんえきけいさんしょ</sup>損益計算書、<sup>たいしゃくたいしょうひょう</sup>貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書  
(<sup>ざいむさんびょう</sup>財務三表と呼ばれます。)などの決算書類で報告しています。

ただ、この書類は初めて見る人には少し難しい内容です。

そのため、使用者のみなさんに決算書に書かれていることを分かりやすく  
お伝えし、岡崎市の下水道事業がどのような状況なのかを  
知っていただけるよう決算書の概要版を作成しました。

決算書を見てみたけど、難しくて  
よくわからなかったよ～。



©R.S.H/RUNE

ルネパンダ

岡崎市出身アーティスト「内藤ルネ」デザイン



スイットくん

岡崎市水道マスコットキャラクター

ぼくが決算書をわかりやすく解説するよ！

まずは、財務三表それぞれの役割について説明するよ！

# 下水道事業



損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書を合わせて財務三表と呼ぶんだ！  
それぞれ役割があって、さまざまな角度から下水道事業の経営状況を把握できるようになっているよ！

経営状況っていうと、やっぱり「儲かったか？」みたいなこと？



©R.S.H/RUNE



「儲かったか？」も大事な情報だね！  
他にも、「下水道管などの資産や、返さなきゃいけないお金である負債がどれくらいあるか？」といった情報や、「現金を増やすことができたか？」といった情報も経営状況をみる上で大切なんだ！

「儲かった」と「現金が増えた」は違う情報なの…？



©R.S.H/RUNE



おっ！とっても鋭い質問だね。実はその2つは違う情報なんだ！！  
この「よくわかる決算書」で、その違いを詳しく説明していくよ。  
みんなが理解できるようにがんばって解説するね！



ここではひとまず財務三表それぞれの役割を抑えよう！！  
損益計算書が「儲かったか」、  
貸借対照表が「資産、負債、資本の状況」、  
キャッシュ・フロー計算書が「現金が増えたか」をあらわす書類なんだ！！  
次のページから、「損益計算書」を中心に経営状況を解説していくよ！

※下水道事業における「儲け（利益）」は、将来の施設の更新や借入金の返済に使われます。

## 2 経営成績はどうだったの？

### 下水道事業の概況を見てみよう！

#### 1 下水道の接続件数

項目	令和4年度	令和3年度	前年度からの増減
せつぞくごすう 接続戸数 (戸)	145,746	143,997	1,749
しより くいき ないじんごう 処理区域内人口 (人)	342,884	343,269	-385



「接続戸数」は、下水道に接続している戸数のことで、前年度から1,749戸増えたよ！  
「処理区域内人口」は、下水道が利用できる区域の人口のことで、前年度から385人減ってしまったんだ。

#### 2 下水道の処理水量

項目	令和4年度	令和3年度	前年度からの増減
そうおすい しよりすいりょう 総汚水処理水量 (m <sup>3</sup> )	36,116,924	36,995,665	-878,741



処理場できれいにした汚水の量を合計したものを「総汚水処理水量」と言うんだ！  
おうちで使われる水の量が減ったことで、前年度と比べて878,741m<sup>3</sup>のマイナスになったよ。

#### 3 令和4年度決算の特徴

##### 純利益の減少

(税抜)

項目	令和4年度	令和3年度	前年度からの増減
じゅんりえき 純利益 (億円)	3.5	5.7	-2.2
げんかしょうきゃくひ 減価償却費 (億円)	47.2	45.8	1.4

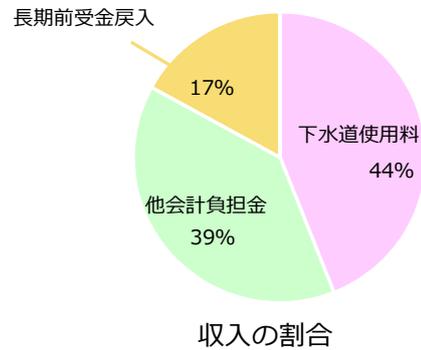


下水道事業の1年間の儲けを「純利益」と言うんだ！  
前年度と比べて2億2千万円も減っているよ！  
減価償却費が増えていることが原因の一つだよ。

損益計算書の、収入を見てみよう！

収益的収入（損益計算書） (税抜)

内容	金額（円）	割合（%）
下水道使用料収入	3,818,857,294	44%
他会計負担金	3,432,913,008	39%
長期前受金戻入	1,493,394,056	17%
その他	19,581,307	0%
合計	8,764,745,665	100%



下水道事業は、みんなが支払う  
「下水道使用料」で経営しているんだよ！！

あれ!?  
でも...収入には、「下水道使用料」のほかに  
「他会計負担金」や「長期前受金戻入」ってあるね....これはなに？



©R.S.H/RUNE



よく気が付いたね！  
下水道管には、みんなの家からの「汚水」と「雨水」が流れているんだ！！  
「汚水」の費用は、使った人が支払うんだけど、  
「雨水」のための費用は、市の「税金」で支払うのがルールなんだ！！  
「雨水」を流すための施設は下水道事業で管理しているから、  
「岡崎市」から「下水道事業」に支払われるんだ。それが「他会計負担金」だよ。  
「長期前受金戻入」は難しいから、もう少しあとで説明するね。

下水道には2種類あって、それぞれ「使っている人からの使用料」と  
「みんなからの税金」で運営しているんだね！



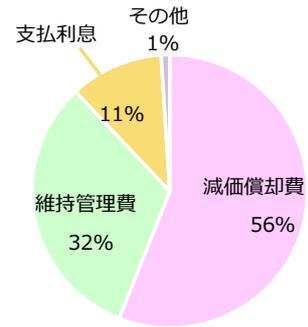
©R.S.H/RUNE

## 次に、支出の内容を見てみよう！

### 収益的支出（損益計算書）

（税抜）

内容	金額（円）	割合（％）
げんかしょうきゃくひ 減価償却費	4,732,782,561	56%
いじかんりひ 維持管理費	2,651,983,582	32%
しはらいそく 支払利息	943,306,007	11%
その他	90,498,647	1%
合計	8,418,570,797	100%



「維持管理費」って具体的には何なの？



©R.S.H/RUNE



汚くなった水をきれいにする処理場（矢作川浄化センター）や、みんなの家から処理場へ汚水を送るポンプ場の電気代や薬品費、汚泥の処分費などの費用や、下水道の仕事をしている職員の給料とかが「維持管理費」に含まれているよ！！

「支払利息」って何の利息？



©R.S.H/RUNE



施設を作るときなどに借り入れたお金の利息になるんだけど、約9億円もあるんだよ。

もう一つの「げんかしょうきゃくひ」って、さっぱりわからないけど....



©R.S.H/RUNE



「減価償却費」は、「長期前受金戻入」とセットで考えると分かりやすいから、次のページでまとめて説明していくね！

# 「減価償却費」 「長期前受金戻入」を知ろう！



損益計算書には、1年間にかかった費用を載せるって決まりがあるんだ！

下水道管などの施設は長い間使えるよね。

だから作った年に全額を費用にするんじゃなくて、その施設が使える年数で少しずつ費用にする必要があるんだ。

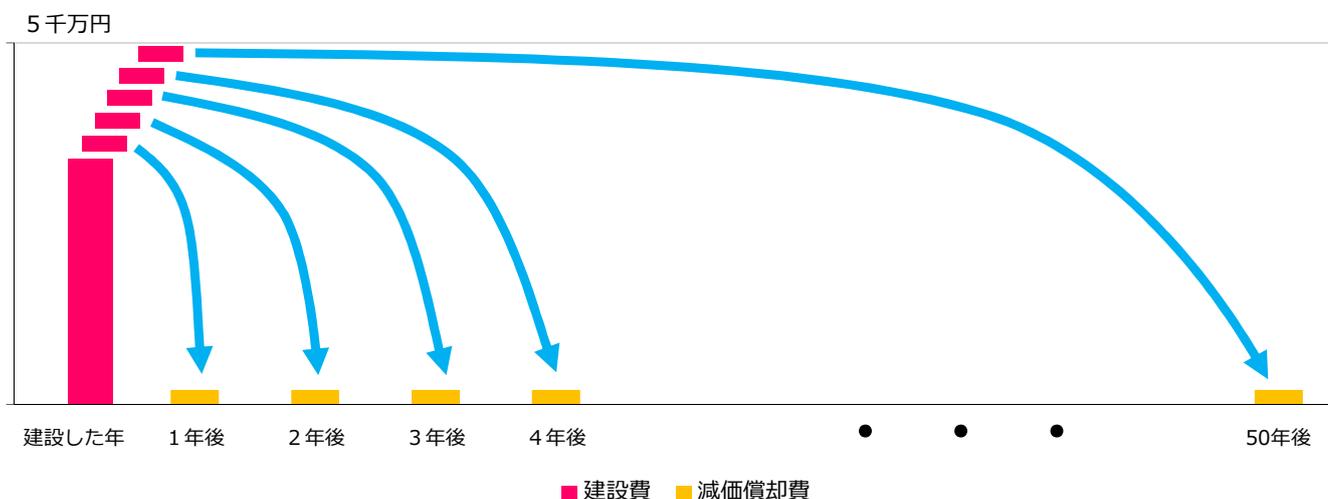
これを「減価償却費」っていうんだ！

作った年に現金の支払いはしているんだけど、

全部が費用になるのはもっとずーっと先になるんだ。

減価償却費のイメージを見てみよう！

50年間使える下水道管を5千万円で建設した時の減価償却のイメージ



この表をみると、建設した年に5千万円は払っているんだけど、50年間かけて少しずつ費用として毎年損益計算書に載せているんだね。つまり、現金を支払ったものが全て損益計算書に載っているわけではないんだね。じゃあ「長期前受金戻入」ってどんなものなの？



©R.S.H/RUNE



「長期前受金戻入」っていうのは、この収益版だね。下水道事業は施設の建設の時に国から補助金をもらったり、下水道を使用する人から負担金をもらったりして建設しているんだけど、そのお金も施設が使える年数に合わせて収益にしていくなんだ！



この2つの会計制度はこの後も、非常に重要になるから覚えておいてね！  
じゃあ、損益計算書から分かることを見ていこう！

## 損益計算書の「収入」から「支出」を引いてみよう！

収入－支出＝純利益（純損失）

346,174,868円



約3億5千万円のプラスだね。  
「収入」から「支出」を引いたものがプラスだと「純利益」、マイナスだと「純損失」と呼ぶんだよ！黒字、赤字って言うと分かりやすいかな？  
損益計算書から分かるのは、下水道事業が黒字か赤字かってことなんだ！

3億5千万円も黒字なら下水道事業は安心だね！



その通り！！・・・と言いたいところなんだけど・・・。  
実は、損益計算書に載っていない支出と収入があるんだ。



©R.S.H/RUNE

さっき損益計算書の支出と収入をみたけどあれで全部じゃないんだね！  
それってもしかして、さっきの減価償却費と関係があるの？



©R.S.H/RUNE



そのとおり！！  
下水道管建設のように、実際に現金の支出や収入をしているけど、  
損益計算書に載らない部分があるから、  
そういった支出や収入についてもしっかりと把握する必要があるんだ！

そうだったんだね！  
確かに金額もかなり大きそうだから、  
ちゃんと把握しておく必要があるんだね！！



©R.S.H/RUNE



こういった今年に支出や収入をしているんだけど、  
性質上、損益計算書に載らないものをそれぞれ、  
「**資本的支出**」「**資本的収入**」というんだ！

なんで損益計算書に載らないのか  
詳しく知りたいな～！



©R.S.H/RUNE

## 損益計算書に載らない支出・収入を知ろう！

損益計算書には  
1年間にかけた**費用**と**収益**を載せるんだよね！！



©R.S.H/RUNE



そのとおり！  
それに対して資本的収入・支出は、  
**資産の取得**や**更新（改良）**に関わる**資本の取引**を集計しているんだ。

資本の取引には、費用と収益は関係ないの・・・？



©R.S.H/RUNE

そうなんだ！例えば・・・

更新工事をするとき⇒工事勘定（**資産**）/現金（**資産**）  
借金をするとき⇒現金（**資産**）/借入金（**負債**）

となるから、損益計算書で表示する「費用」や「収益」の勘定は経由しないんだ。  
だから、損益計算書に載ることなく取引が行われていくんだよ！

なるほど！  
損益計算書に載っている勘定に関係ない取引もあるんだね！



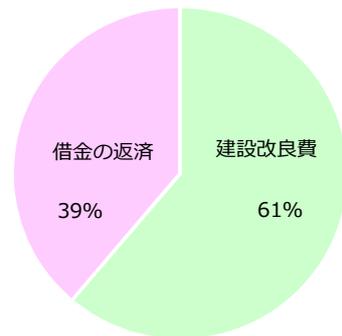
©R.S.H/RUNE

次のページからはそれらの支出と収入を見ていこう！！



「<sup>しほんてきししゅつ</sup>資本的支出」 (= 損益計算書には載っていない支出) を見てみよう!

資本的支出 (損益計算書に載っていない支出)		(税抜)
内容	金額 (円)	割合 (%)
けんせつかいりょうひ 建設改良費	6,627,222,556	61%
しゃっきんのへんさい 借金の返済	4,201,924,988	39%
その他	2,320,000	0%
合計	10,831,467,544	100%



資本的支出の割合



建設改良費は、施設の建設費のことだよ。  
施設の建設には約66億円もかかっているんだ!!  
あとは、施設を建設する時に借りた借金を返すお金も  
損益計算書には載っていないよ。

損益計算書に載っていない支出が約108億円もあるのね・・・。  
まさか、損益計算書に載っていない支出の方が、  
損益計算書に載っている支出より大きいなんて思わなかったよ。



©R.S.H/RUNE



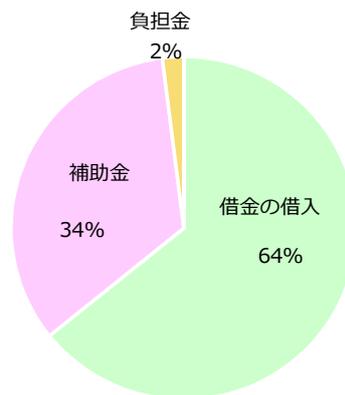
そうなんだよ!  
下水道事業における支出の多くは施設の建設や更新に使われているから、  
資本的支出が一般の企業に比べて大きいんだ。  
だから損益計算書に載っていない支出もしっかり見なきゃいけないんだ!



さあ、じゃあ次は損益計算書に載っていない収入、  
「資本的収入」について見ていこう!  
こっちも支出くらい大きな金額なら心配なさそうだね。

「<sup>しほんてき しゅうにゅう</sup>資本的収入」 (= 損益計算書には載っていない収入) を見てみよう!

資本的収入 (損益計算書に載っていない収入)	(税抜)	
内容	金額 (円)	割合 (%)
しゃっきんのかりいれ 借金の借入	4,584,700,000	64%
ほじょきん (※) 補助金 (※)	2,415,885,712	34%
ふたんきん (※) 負担金 (※)	141,454,330	2%
その他	1,100,500	0%
合計	7,143,140,542	100%



※消費税の計算上生じる雑支出や、来年度の繰り越し工事に係る収入を引いておりますので決算書の数値と一致しません。



借金の借入も借金の返済と同じく損益計算書には載らないよ! 次に大きい補助金や負担金が長期前受金といって建設の時に国や下水道を使用する人からいただくお金なんだ!



©R.S.H/RUNE

国からの補助金ということは、ここでも税金が投入されているの?



するどい!  
その通り。補助金は税金だよ。地震や浸水のような災害への対策はとってもお金が必要だから、下水道使用料だけではなかなか進められないんだ。だから税金をもらっているよ!

負担金についても教えて!



©R.S.H/RUNE



負担金には、新しく下水道を整備した地区に土地を持っている人からもらっている「受益者負担金」などが含まれているよ!  
じゃあ最後に、損益計算書で純利益 (純損失) を計算したように、「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう!

## 「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう！

収入－支出（施設の建設）

-3,688,327,002円

約36億9千万円の赤字！？  
いったいどうやって施設の建設をしているの・・・？



©R.S.H/RUNE

この赤字分も損益計算書の収入で補わなくちゃいけないんだ。

損益計算書の収入で補う・・・？  
でも損益計算書の収入は「維持管理費」や「減価償却費」で使って  
しまっただけ3億5千万円しか余ってないじゃない！！



©R.S.H/RUNE

すごい！よく覚えているね！！  
下水道使用料等の収入から維持管理費や減価償却費等の支出を引いた  
残りが純利益だったね。  
ここで問題なのが、「減価償却費」と「長期前受金戻入」なんだ。  
この2つの費用と収益は、最初の1年目に現金の収入や支出を行っているから、  
この年にはお金が使われていない費用や収益なんだ。  
だから、損益計算書の純利益を考える時には、下水道使用料等の収入から  
減価償却費を引いたけど、実際には、その分のお金が手元に残っているんだよ。  
逆に「長期前受金戻入」は、むかし貰った「補助金」のうちの今年度分を  
計上してるだけだから、お金の動きを考えるとときには引かなきゃいけないんだ！

「減価償却費」は、むかし支払った「建設費」のうちの今年度分を  
計上してるだけだから、実際には現金の支払いは無いんだね！！  
だからこのお金は、「資本的収入－資本的支出」の赤字を埋めるのに  
使えるってことかな？



©R.S.H/RUNE

## まとめ



ここまでの話をまとめよう！！

「資本的収入－資本的支出」の赤字額は約36億9千万円。

損益計算書上の純利益（黒字額）は約3億5千万円。

損益計算書で支出計上したけど使えるお金（減価償却費分）は約47億3千万円。

損益計算書で収入計上したけど使えないお金（長期前受金戻入分）は約14億9千万円。

全て足し引きすると下の計算式のようになるよ！！

資本的収入－資本的支出		-3,688,327,002	円
損益計算書上の純利益（黒字額）	+	346,174,868	円
減価償却費	+	4,732,782,561	円
長期前受金戻入分	-	1,493,394,056	円
		-102,763,629	円

今年は約1億円のマイナスってこと？



©R.S.H/RUNE

そうだね。今年は1億円ほど使えるお金が減ったんだ。

このお金は「ほてんざいげん補填財源」と呼ばれているよ。

これまでに生じた利益などは「補填財源」として管理されていて、  
今年みたいに赤字が出たときや今後の建設費に使えるお金になるんだよ！



損益計算書で黒字が出ているから安心！っていうわけじゃなくて、  
資本的収入と資本的支出の結果も見ないといけないんだね！！  
そういえば「補填財源」って今どれくらいあるのかな？

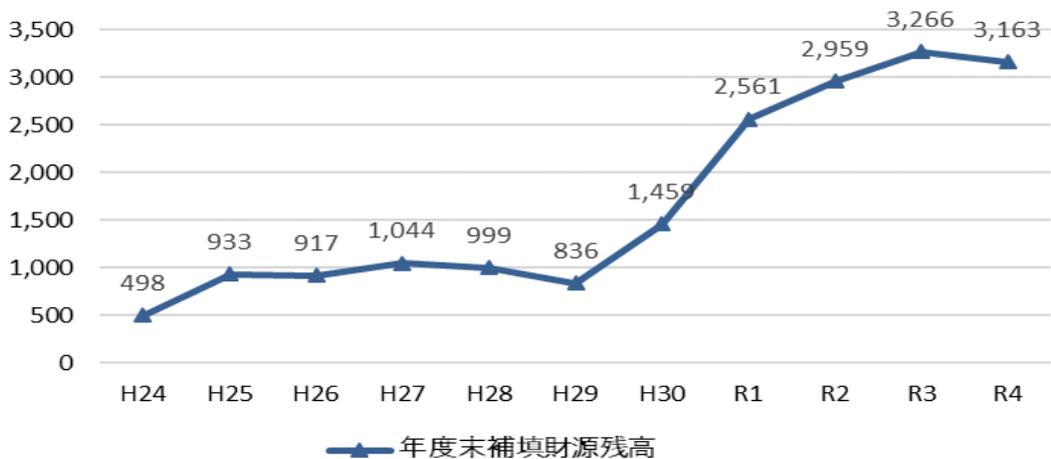


©R.S.H/RUNE

### 3 ほてんざいげん 補填財源の推移を見てみよう！

(百万円)

#### 補填財源推移



今は30億円ぐらい「補填財源」があるんだね！  
水道事業の118億円と比べると少ないね…。



©R.S.H/RUNEC

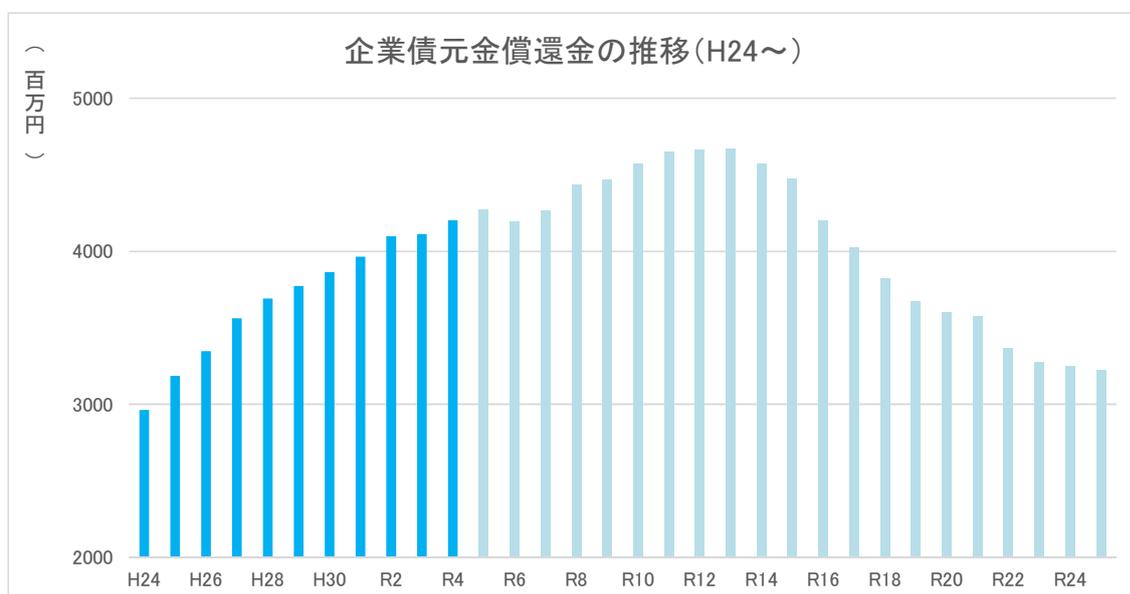


下水道事業は、平成24年から企業会計を導入してるんだ。  
補填財源を貯え始めて、まだ10年しかたっていないから、  
水道事業とは事情が違うんだよ。  
どんな違いがあるか、下水道事業が置かれている状況を  
もう少し見てみよう！

## 4 下水道事業が置かれている状況を見てみよう！



下の表は企業債の償還金の推移だよ。  
企業債の償還金は下水道を整備する時に借りたお金を返している金額だよ。  
今は返済金のピークだからお金を貯めることが難しいけど  
ピークを過ぎたら使えるお金が増えていくことが期待できるよ。



ピークを越えると楽になるんだね！  
古くなった下水道を入れ替えたりするお金もこれから必要だよね・・・？



©R.S.H/RUNEC

水道と下水道の老朽化率（令和4年度）

	水道	下水道
老朽化率※	21.13%	5.49%

※法定耐用年数を経過した管渠の割合です。



そう、下水道には計画的な点検や更新が必要なんだ。  
でもね、下水道は水道と比べれば更新が多くなるのはまだ先なんだ。  
返済のピークを越えてから徐々に更新が増えていくんだけど、  
長期的な視点で効率的な改築更新計画を策定している最中なんだ。

わたしたちが、ずっと下水道を使えるように、  
しっかりした計画をお願いしますね！



©R.S.H/RUNE

5 財務三表の解説①

【図解】損益計算書（決算書P.74～75）

損益計算書は、ある一定期間における企業の経営成績を明らかにするため、その期間中に得たすべての収益、これに対応するすべての費用、最終的な損益を記載する報告書です。

★損益計算書から分かること

損益計算書からは、どのような経営活動によって、どれだけの経営成績を上げたかを知り、それに基づいて過去の経営を分析し、また、将来の方針を立てることができます。

★注目ポイント

次の式で損益を把握するよ！

損益 = 収益 - 費用

プラス → 利益  
マイナス → 損失



**① 営業損失**  
**本業による損益が分かる！**  
 下水道事業の本業は、汚水と雨水を排水することです。そのための費用や、みなさんからいただく下水道使用料や、雨水を排水するための費用に対する一般会計からの繰入金等の、主たる営業活動の結果を示しています。

**② 経常利益**  
**経営活動から生じた損益が分かる！**  
 本業に関する損益に加えて、一般会計からの繰入金による収入のうち営業外収益としたものや、借入金利息の支払い等の資金調達等に関する損益の結果を示しています。

**③ 当年度純利益**  
**最終的な損益が分かる！**  
 1年間のすべての損益の結果を示しています。

**令和4年度岡崎市下水道事業損益計算書**  
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位 円)

1 営業収益			
(1) 下水道使用料	3,818,857,294		
(2) 他会計負担金	2,019,684,899		
(3) その他営業収益	400	5,838,542,593 (ア)	
2 営業費用			
(1) 管渠費	579,623,835		
(2) ポンプ場費	370,020,931		
(3) 水質管理費	45,598,469		
(4) 業務費	272,689,629		
(5) 総係費	172,486,833		
(6) 流域下水道管理運営費負担金	1,211,563,885		
(7) 減価償却費	4,726,056,491		
(8) 資産減耗費	6,726,070		
(9) 農業業汚水処理施設維持管理費	33,020,848	7,417,786,991 (イ)	
<b>営業損失</b>		<b>1,579,244,398</b>	(ウ) = (ア) - (イ)
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	17,652		
(2) 他会計負担金	1,413,228,109		
(3) 補助金	11,689,852		
(4) 長期前受金戻入	1,493,394,056		
(5) 引当金戻入益	4,492,452		
(6) 雑収益	2,477,340	2,925,299,461 (エ)	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	943,306,007		
(2) 雑支出	53,371,790	996,677,797 (オ)	1,928,621,664 (カ) = (エ) - (オ)
<b>経常利益</b>		<b>349,377,266</b>	(キ) = (ウ) + (カ)
5 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	903,611	903,611 (ク)	
6 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	4,106,009	4,106,009 (ケ)	△ 3,202,398 (コ) = (ク) - (ケ)
<b>当年度純利益</b>		<b>346,174,868</b>	(サ) = (キ) + (コ)
前年度繰越利益剰余金		0	
その他未処分利益剰余金変動額		0	
<b>当年度未処分利益剰余金</b>		<b>346,174,868</b>	

## 5 財務三表の解説②

### 令和4年度岡崎市下水道事業貸借対照表

(令和5年3月31日まで)

#### 【図解】貸借対照表 (決算書P79~77)

貸借対照表は、年度末時点に企業が所有するすべての資産、負債及び資本を表示する報告書です。

#### ★貸借対照表から分かること

表の左側【資産の部】からは、企業が事業を行うために所有している資産の残高を知ることができます。

表の右側【負債の部】及び【資本の部】からは、資産を取得するためにどのように資金を集めたかを知ることができます。

資産は、性質によって「固定資産」と「流動資産」に分かれています。  
 区分の仕方は、1年のうちに現金化できるものを「流動資産」、できないものを「固定資産」としています。  
 この区分のルールを「ワンイヤールール」と呼びます。

#### ★注目ポイント

##### ① 流動比率 (%)

$$= \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100 = 86.3\%$$

すぐに支払わなければならないお金(流動負債)を、すぐに支払えるか(現金等の流動資産がどれくらいあるか)を表します。  
 200%以上が理想的で、高いほど経営が安定していると言えます。  
 (参考: R1決算類似団体平均値=73.0%)

##### ② 有形固定資産減価償却率 (%) = 有形固定資産減価償却累計額

$$\div \text{有形固定資産のうち償却対象資産} \times 100 = 23.5\%$$

有形固定資産の減価償却がどの程度進んでいるか(その資産をどれくらいの期間使っているか)を表します。  
 指標が高いほど資産の老朽化度合いが高いと言えます。  
 (参考: R1決算類似団体平均値=31.0%)

【資産の部】		金額(円)	【負債の部】		金額(円)
固 定 資 産		154,977,635,605	固 定 負 債		60,480,089,526
有 形 固 定 資 産		149,076,820,877	企 業 債		60,390,502,491
土 地		2,905,683,732	リ ー ス 債 務		61,237
建 物		7,123,778,750	引 当 金		89,525,798
構 築 物		169,947,542,833	流 動 負 債		7,448,190,937
機 械 及 び 装 置		10,472,507,300	企 業 債		4,271,356,273
車 両 運 搬 具		3,272,918	リ ー ス 債 務		240,197
工 具 器 具 及 び 備 品		12,839,538	未 払 金		3,084,509,484
リ ー ス 資 産		1,046,900	引 当 金		25,623,000
減 価 償 却 累 計 額		△ 44,028,397,599	そ の 他 流 動 負 債		66,461,983
建 設 仮 勘 定		2,638,546,505	繰 延 収 益		55,430,281,997
無 形 固 定 資 産		5,897,317,228	長 期 前 受 金		69,318,610,675
施 設 利 用 権		5,897,317,228	収 益 化 累 計 額		△ 13,888,328,678
投 資 其 他 の 資 産		3,497,500	負 債 合 計		123,358,562,460
長 期 貸 付 金		1,457,500			
其 他 の 投 資		2,040,000			
流 動 資 産		6,430,529,586	【資本の部】		金額(円)
現 金 預 金		4,613,607,617	資 本 金		37,602,635,648
未 収 金		1,751,679,732	剰 余 金		446,967,083
貸 倒 引 当 金		△ 2,630,013	資 本 剰 余 金		100,792,215
短 期 貸 付 金		1,256,250	利 益 剰 余 金		346,174,868
前 払 金		66,616,000	資 本 合 計		38,049,602,731
資 産 合 計		161,408,165,191	負 債 資 本 合 計		161,408,165,191

『お金の使い道』  
 集めたお金が、「どのような状態」で「どれだけ」あるかが分かります。

『お金の集め方』  
 企業が資産を獲得するためのお金を、「どうやって」集めたかが分かります。

負債は、  
 企業債(借金)等、  
 他者に返さなければ  
 ならないお金だよ。



くりのべ  
 繰延収益は、下水道管  
 の建設等にもらった  
 補助金など、返す必要  
 のないお金だよ。



©R.S.H/RUNE



資本は、  
 資本金や事業で獲得  
 してきた利益などの  
 お金だよ。

## 5 財務三表の解説③

### 令和4年度岡崎市下水道事業キャッシュ・フロー計算書 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

【図解】キャッシュ・フロー計算書（決算書P102～103）  
キャッシュ・フロー計算書は、対象年度中の現金の増減とその理由を表す報告書です。

★キャッシュ・フロー計算書から分かること  
損益計算書、貸借対照表からは読み取りにくい、「1年間の現金の流れ」をその理由と合わせて知ることができます。

#### ★注目ポイント

##### ①現金を増やすことはできたか？

まずは現金が増えているか、減っているかを確認します。その後、各キャッシュ・フローを見ると、なぜそうなったのか？を知ることができます。

##### ②「業務活動によるキャッシュ・フロー」はプラスか？

下水道事業を続けるためには、本来の営業活動で得たお金（下水道使用料）で、汚水をきれいにするための負担金や汚水を流すための下水道管の維持管理・更新をしなければなりません。そのためには、「業務活動によるキャッシュ・フロー」は必ずプラスにならなければなりません。

##### ③「投資活動によるキャッシュ・フロー」はどれくらいマイナスか？

現在、多くの下水道施設が更新期を迎えており、多額の更新費用を必要としています。施設の更新をすれば「投資活動によるキャッシュ・フロー」は必ずマイナスとなりますが、その規模はどれくらいか？が重要です。

##### ④「財務活動によるキャッシュ・フロー」はプラスかマイナスか？

下水道事業では、下水道使用料で稼いだ資金に加えて、お金を借りることで下水道施設の更新を行っています。「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、借入と返済による資金の増減を表しており、借りた金額よりも返す金額が多ければマイナスに、借りた金額が返す金額よりも多ければプラスになります。

		(単位 円)
1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益	346,174,868
	減価償却費	4,726,056,491
	固定資産除却費	6,726,070
	退職給付引当金の増減額(△は減少)	△ 3,432,844
	賞与等引当金の増減額(△は減少)	872,000
	貸倒引当金の増減額(△は減少)	34,522
	長期前受金戻入額	△ 1,493,394,056
	受取利息及び受取配当金	△ 17,652
	支払利息	943,306,007
	未収金の増減額(△は増加)	△ 107,426,278
	未払金の増減額(△は減少)	42,425,359
	前払金の増減額(△は増加)	214,184,000
	その他流動負債の増減額(△は減少)	440,143
	小計	4,675,948,630
	利息及び配当金の受取額	17,652
	利息の支払額	△ 943,306,614
	<b>業務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,732,659,668</b>
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	△ 7,040,789,873
	無形固定資産の取得による支出	△ 180,481,961
	短期貸付金の償還による収入	△ 5,410,000
	投資有価証券の取得による収入	△ 2,320,000
	工事負担金による収入	21,997,572
	他会計負担金による収入	66,804,157
	受益者負担金による収入	62,711,530
	国庫補助金による収入	2,409,994,762
	県補助金による収入	4,217,950
	<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 4,663,275,863</b>
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	4,584,700,000
	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 4,201,924,988
	リース債務の返済による支出	△ 232,171
	<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>382,542,841</b>
	<b>資金増加額(又は減少額)</b>	<b>△ 548,073,354</b>
	資金期首残高	5,161,680,971
	資金期末残高	4,613,607,617

今年はプラスだね！今後、老朽化による投資活動の増加に備えておかなきゃね！



たくさん施設更新しているね！



©R.S.H/RUNE

返済より借入の方が多だね！



3つの活動のバランスが大切なんだね！



©R.S.H/RUNE



## あ

雨水（うすい） …… 雨水（あまみず）のこと。

汚水（おすい） …… 家庭や工場などから排水される、汚れた水のこと。

## か

勘定 …… 取引が行われるつど、資産・負債・資本・収益・費用の5つの要素を用いて記録する。それらの要素を勘定という。  
また、例えば資産勘定の中でも、現金や普通預金、建物など中身は細かく分けられる。これらは勘定科目という。

キャッシュ・フロー計算書 …… 現金の増減に関する情報を表示する報告書のこと。（P18 参照）

公営企業会計 …… 官公庁特有の方式である「一般会計」に対して、民間企業と似た方式をとる会計制度のこと。下記の2つの大きな特徴がある。

① 発生主義

現金取引の有無に関わらず、経済活動の発生を記帳のタイミングと考える。

② 複式簿記

一般企業（株式会社など）と同様の記帳方法。

正確な経済状態の把握が可能になるメリットがある。

## さ

資本的収支 …… 収益には関係ない、資本や負債に関わるお金の流れ。例えば、資産となりうる建物・施設の建設や、企業債の元金償還などが資本的収支に含まれる。  
資本的収支は、公営企業会計では4条と呼ばれている。

収益的収支 …… 経営活動に伴って発生する全ての収益と費用を表す。  
下水道事業でいうと、下水道使用料や維持管理費などがこれに含まれる。  
収益的収支は、公営企業会計では3条と呼ばれている。



受益者負担金…… 新しく下水道を整備した際、その地区に土地を持っている人に建設費の一部を負担していただくもの。

損益計算書……… ある一定期間における企業の経営成績を表示する報告書のこと。(P16 参照)

## た

貸借対照表……… 年度末時点における企業の財政状況を表示する報告書のこと。(P17 参照)

長期前受金戻入… 財源を年数ごとに少しずつ収益にしていく仕組みのこと。  
施設等を建設するときには、国や県から補助金を貰ったり、一部を市民の方に負担していただいたりしている。これらは施設を建設する年にまとめて貰うが、  
損益計算書には“1年間にかけた費用と収益を載せる”という決まりが

あるため、減価償却と同様に、その施設が使える年数に合わせてそれぞれの年に収益を分ける必要がある。

## は

引当金……… 将来発生する費用や損失に備えるために、あらかじめ準備しておくもの。  
貸倒引当金や賞与引当金など、様々な勘定科目がある。

負債……… 企業債や未払金等の借金のような、返す義務のあるもの。  
返さなければならない期限が1年未満か1年以上かによって、流動負債と固定負債に分けられる。

補填財源……… 今までに生じた利益や、費用化されるが当年度現金を支払う必要のない減価償却費などが「補填財源」として管理される。

資本的収入よりも資本的支出の方が大きい場合は、この補填財源で補填しなければならない。

その理由は、資金的な裏付けがあることを確認し、企業がその事業規模を逸脱して拡大・拡張していないかを確認するためである。



©R.S.H/RUNE

## ら

流動資産…………… 1年以内など、比較的短い期間で現金にすることができる資産のこと。現金や普通預金、未収金、短期貸付金などがある。

流動負債…………… 企業の本業に関わって生じた支払債務や、1年以内に支払わなければならない債務のこと。

もっと伝えたい  
下水道のちからを

